

# 2019年度 活用論文・実践記録集 Vol.22 原稿募集のご案内

日本交流分析協会関西支部 支部長 小原豊子  
論文支援委員会 委員長 山本昭一

2018年度関西支部は支部設立22周年を迎え、「活用論文・実践記録集」第21巻を発行しました。今まで「活用論文集」に投稿された方々はのべ177名となり、皆さん関西支部や全国で活躍されています。

その輝かしい伝統を継承しつつ昨年は、「論文合評会」を継続して開催することができました。また、「TA実践研究」に投稿される皆さんを支援することもできました。



論文作成は「実践記録」から始まります。実践記録は、交流分析を活用している自分史です。活用論文・実践記録集は、実践記録をまとめて形にした貴重な資料です。交流分析をより深く理解し、実践していこうという皆さんの投稿を、今年もお待ちしています。

論文を投稿してみようと考えておられる方は、B5のテンプレート（タイトル部分と本文2段組 下図参照）を活用してください。

タイトル	
(資格) 交流分析士〇〇	
(名前) 〇〇 〇〇	
あ い う え お * *	か き く け こ * *

（メールで申し込んでいただいた方には、添付ファイルでそのまま書き込めば良いものを送ります）  
また、上位資格（教授・准教授）の取得を目指しておられる方は、□に「✓」をご記入ください。論文支援委員会が応援させていただきます。どうぞ、お気軽にご相談ください。

記

**募集対象** 関西支部会員（資格は問いません）

※交流分析を活用している経験を、実践記録・活用論文にまとめてみようという会員

**投稿締切日** 2019年5月4日（土）〔年次大会が昨年より早いので、厳守をお願いします〕

**投稿の範囲** 交流分析（周辺理論の心理学等も含まれます）の活用、実践及び研究

**投稿文字数** B5サイズ10ページ以内（Word原稿を事務局にメールでお送りください）

**テーマ提出** 投稿を考えておられる方は、仮テーマと氏名を事務局にお知らせください。

※申込者には、テンプレート（文字見出しゴチック11p 本文明朝10.5p 英数字Century）を送ります。

※投稿された原稿を他に投稿することを制限しません。ただし、個人情報の扱いやレイアウトの変更を、投稿者へ確認の上で行なうことがあります。

申し込み（ 関西支部事務局 FAX.06-6375-1002 または メール：info@takan31.com ）

お名前		連絡	( )
メール	@	会員資格	
仮テーマ			<input type="checkbox"/> 上位資格取得希望

※いただいた個人情報は、活用論文・実践記録集の連絡以外には使用いたしません。